

< その他、取組に特徴がある事例 >

## 景観作物の作付とオリーブ栽培

### 1．集落協定の概要

市町村・協定名	すおうおおしまちょう かみゆどころ 山口県周防大島町・上湯所 2			
協定面積 3.5ha	田 (39%)	畑 (61%)	草地	採草放牧地
	景観作物 他	柑橘 他		
交付金額 50万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	農地維持管理費(景観作物)		20%
		新規作物(オリーブ)の栽培		20%
		水路・農道等の維持管理		10%
協定参加者	農業者 8人			

### 2．取組に至る経緯

本集落の課題は、担い手の大部分が高齢者で後継者がいないことと、これに伴う耕作放棄地の増加であった。そのため、管理されなくなった農地について、中山間地域等直接支払制度を活用して、景観作物を作付けるなど、地域・集落ぐるみで取り組んできた。

### 3．取組の内容

耕作者の高齢化に伴い、管理されなくなった多くの農地は、蔓草・笹・灌木などが繁茂し、イノシシやタヌキの巣となり、雑草種子の発生源となった。この問題を解決する手段として、中山間地域等直接支払制度を活用することとし、これら農地を再生し、春は菜の花、秋はコスモスを景観作物として作付ける活動を毎年継続して行っている。

また、低労働力(みかんの5分の1)で生産が可能で、高収入が期待できるオリーブの栽培を試験的に始めている。



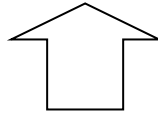
【景観作物の菜の花の畑】



【新規作物のオリーブの栽培】

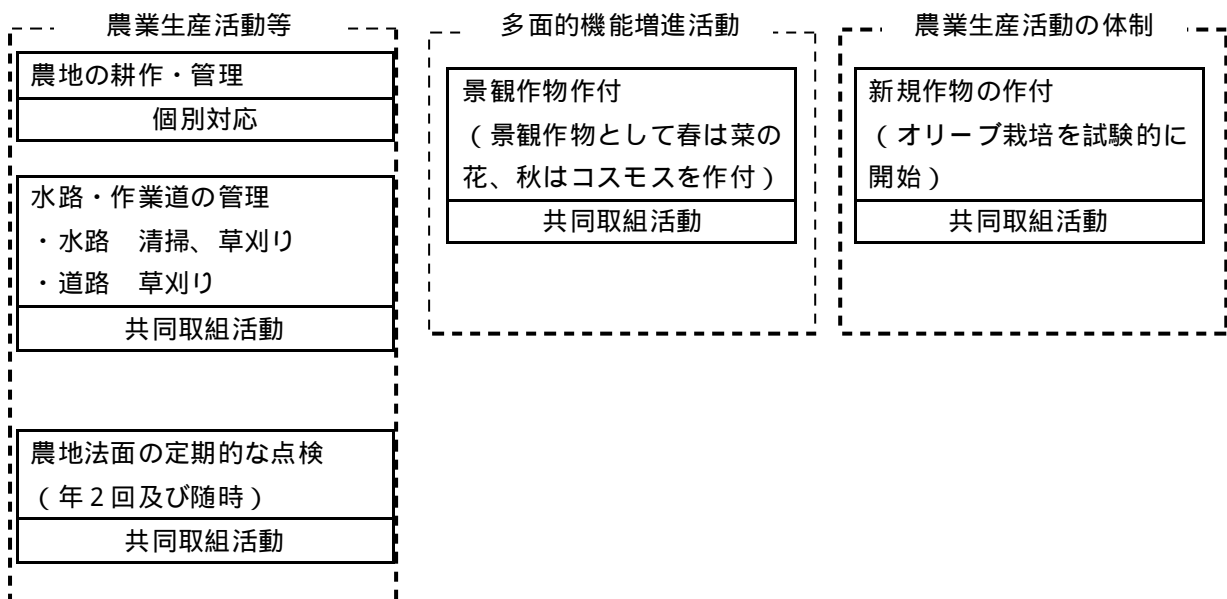
[ 集落の将来像 ]

地域・集落ぐるみで農作業活動の体制構築を継続している。  
試験的に始めているオリーブは3つの用途(食用油、食用果実、化粧品)があり、将来的には本格的な栽培・加工をしていきたい。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

景観作物の作付について、継続して取り組む。  
試験的に始めているオリーブ栽培を加工品作りなどの産業としても位置づけたい。



#### 4 . 今後の課題等

中山間地域等直接支払制度の取組を通じて、耕作等をしていない農地を開墾・再生し、景観作物などを作付けた結果、協定農用地の周辺農地でも、次第に草刈りなどの管理を行い始めてきている。

今後も、引き続き共同取組活動として、景観作物の作付やオリーブの栽培に取り組んでいきたい。

[ 第2期対策の主な成果 ]

景観作物(春：菜の花、秋：コスモス) を田3.5haで作付